

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL 5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子

第12号
平成18年
10月3日

すまいるたうん



オカリーナを、 聴きにいらっしやいませんか

オカリーナ、聴いた事ありますか？

オカリーナは1840年から50年の間にイタリヤ北部のボローニヤ周辺で生まれたとされています。素焼の素朴な楽器で、その原型は紀元前2〜3千年の古代遺跡などからも発掘されています。



その独特の面白い形状からオカリーナは「小さなガチョウ」と名づけられ、チロル地方の吟遊詩人達によって音楽の都ウィーンに伝わり、それを期に世界中に広まり、その素朴で美しい音色が親しまれるようになりました。

オカリーナは、実は形が決まっています。なぜなら、およそどんな形でも指穴の位置がちゃんと押さえられる位置にあれば演奏できるのです。指で押さえる穴が12個と息を抜く穴と吹く穴で15個位の穴があいており、息の強さをコントロールすることで音程が変わります。

また、大きなオカリーナは低い音、小さなオカリーナは、高い音が出てその時々によって使い分けれます。

「オカリーナ愛好会」は、そんなオカリーナの音色に魅せられた人達によって9年前にできました。

現在、会員は11名で、40〜81歳の方がおり、平均年齢70歳。月2回、第2と第4の金曜日午後1〜2時半まで、町屋文化センターの音楽練習室レッスンをしています。会費は、月3千円です。会員募集中です。お気軽にご見学に・・

オカリーナは、音譜が読めなくても先生が親切に教えて下さいますので、縦笛（リコーダー）が吹ければ、もっと早く吹ける様になります。

80歳の小林さんも、ひ孫6人の面倒をみながら、9年前、古館さん（79歳）と共に始めました。

また、月1回ボランテイアとして、サンハイム荒川に季節感ある楽曲を選び、歌を歌い、演奏を奏で行っています。

「音楽によって、幼少期に慣れ親しんだ風景など思い出すことで認知症などの加齢化が止まることのお手伝いができたら」と高橋伸江さん（68歳）は、おっしゃっています。

年1回の「オカリーナ愛好会」の発表会が10月7日（土）午後1時開場、1時半開演でアクト21ホール地下2Fで開催されます。（無料）「オカリーナ愛好会」の他、3つの団体が参加します。個人演

奏のあと、全員でのオカリーナの演奏は圧巻です。休憩時間では、お茶とお菓子が出来ます。毎年、百名近くの方が聴きにいらしてあります

他に、12日のサンパール荒川大ホールにて開催される「高齢者芸能大会」にも出演されます。

ぜひ、オカリーナの空気の震える音色に昔や異郷に思いを馳せ、癒されるひとときを味わっていただきたいです。

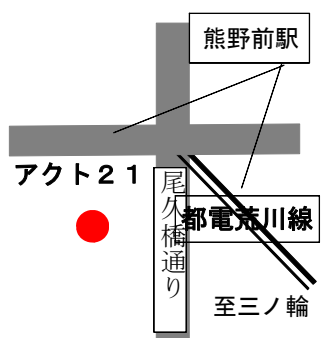
ボランテイアで来てもらいたい・・吹いてみたい・・

「オカリーナ愛好会」に関するお問い合わせは電話（3801）6906 高橋さんまで（夜8時〜11時半まで）

♪オカリーナ♪

ティータイム・コンサート

秋の午後、オカリナの音色とともに お茶とおしゃべりを楽しみましょう
10月7日（土）午後1時開場
・1時半開演でアクト21ホール地下2F 参加費無料



アクト21 東尾久5-9-3
都電熊野下車徒歩3分
電話（3809）2890

